

### 平成30年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	第1回日本300名山鉢盛山2447登山マラソン大会
事業主体 (連絡先)	朝日村観光協会 (0263-87-1935)
事業区分	(6) 産業振興、雇用拡大に関する事業 ア 特色ある観光地づくり
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	3,886,816円 (うち支援金1,992,000円)

#### 事業内容

朝日村新庁舎からスタートして朝日村のシンボル鉢盛山山頂でおりかえし、朝日村新庁舎にフィニッシュする距離約38kmの登山マラソンを実施。

鉢盛山コース(約38km)、あさひプライムコース(約10km)、ファミリーコース(約2km)と内容を3つのカテゴリーに分け、幅広い層の人、また、村内、県内外から多くの人に参加した大会となった。



【鉢盛山コーススタート】

#### 事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

初開催ながら、3種目合計318名の申し込みがあり、当日は、北は北海道から南は福岡県まで全国各地のランナー283名に参加いただき、当初予想を大きく超える結果となった。また、6割は県外の参加者で、朝日村に初めて訪れた参加者が多かった。

実行委員を中心に多くの村民がボランティアとして携わり、スタッフ約100名で大会を運営した。

村民が道路脇に出て旗を振ったり、村の野菜を使ったふるまいを用意したりと村の魅力を伝える村民参加型の大会となり、観光事業を推進していくにあたり、大きな一歩となった。

#### 【目標・ねらい】

- ① 朝日村のシンボルである鉢盛山をキーに交流人口の増加及び県内外へのPR
- ② スタッフ、ふるまい用食材提供、沿道での応援等村民参加型の大会
- ③ 観光事業を推進していくことを理解してもらうための意識改革

#### ※自己評価【A】

#### 【理由】

予想以上の参加者を迎え大会を開催できた。参加者の満足度は高く、朝日村のPR、交流人口の増加に高い効果があった。

#### 今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

初開催ながら予想を超える規模での開催となったので、来年以降も多くの参加者を迎えて継続していきたい。大会の満足度は高かったが、エイドの数、コースの改善、手動計測等規模に合わせて改善すべき点も多い為、検討・改善に努める。リピーターが増え朝日村のファンができる大会づくりを目指し、早い時期から村内でPRをして関わる村民を増やしていく。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある